



第4期高島市まちづくり推進会議

委員募集要項

市民協働によるまちづくりの新しいかたちを目指して



公募期間 2021年5月7日（金）－6月4日（金）



1. 高島市まちづくり推進会議の趣旨

平成 17 年の合併を機に、高島市は「高島はひとつ」を合い言葉に、新しい協働型のまちづくりに取り組んできました。平成 20 年 3 月に公表された『市民協働のまちづくり推進指針～高島市らしい市民協働の実現に向けて～』では「**高島市オリジナル**」の「**進化するまちづくり**」が提言されました。高島市まちづくり推進会議は、市民協働による魅力あるまちづくりを推進するために、平成 27 年に設置された市民主体の会議です。

「オリジナル」「進化」という言葉に込められた市民協働によるまちづくりの具体的なかたちは、思考と試行を重ねることでしか生まれません。高島市ならではの発想や構想を練り、垣根を越えて人間関係を築き、事業や組織を立ち上げる市民の活躍が期待されます。そのためには、まず、市民が行政に要望を伝え、行政が事業を実施する関係を越えた、コミュニケーションやアクションが市民と行政の双方に求められるでしょう。

高島市まちづくり推進会議では、市民の関心や行政が直面している課題を踏まえ、具体的なテーマを設定し、市民委員が行政職員や研究者と議論を交わしながら、高島市の公共的課題として政策化することや、市民主体の協働事業として立ち上げることなど、市民協働のさまざまな可能性を模索しています。つまり、高島市まちづくり推進会議とは、高島市オリジナルの市民と行政の新しい関係を築く場であり、進化するまちづくりをめざす「**はじまりのコミュニティ**」なのです。



2. 高島市まちづくり推進会議の基本的な考え方

市民協働をより実のあるものにするために、推進会議の活動では、立場や考え方、価値観の異なる他者を理解するための「**対話** (dialogue)」、公共性の高い課題に対して根拠を踏まえた提案をするための「**議論** (argument)」や「**調査** (research)」、そして、高島市の課題について学ぶことはもちろんですが、既成の考え方とらわれない発想や行動の可能性を開くための「**学習棄却** (unlearning)」を指針に取り組んでいます。

このような基本的な考え方を踏まえ、高島市まちづくり推進会議は、次のような方々の参加を期待しています。

1. 新しい仲間と共に高島市の暮らしをもっと豊かに、面白くしたい
2. 高島市をフィールドに SDGs について具体的に考えたい
3. 新しい考え方や視点に触れて世界を拡げたい
4. まちづくりを通じて企画立案やチーム運営の経験とスキルを身に付けたい
5. 世代を超えて高島市の未来を創造する人を支援したい
6. 高島市の社会課題の解決に力になりたい

3. 対象テーマ

高島市まちづくり推進会議では、これまで福祉、自然、文化、子育て、交通、地域行事など、まちづくりにかかわるさまざまな分野のテーマに取り組んできました。2021年度からスタートする第4期まちづくり推進会議では、市民委員の問題意識を深めながら、テーマとグループを決める予定です。以下、参考として、第3期の2つのグループが取り組んだ内容を簡単に紹介します。



●遊びながらバス交通の持続可能性を考えるゲームづくりの提案

「市内のバス交通のあり方」グループは、赤字運営が続く高島市のバス交通の今後について検討しました。バス交通システムの歴史的な成り立ちとその時代背景を村史や町史を紐解いて理解し、今日の運営面の課題について都市政策課の担当者にヒアリングを行いました。バスが通学や通院などで、交通弱者にとって不可欠な役割を担っている一方で、自家用車の普及によって大多数の市民にとっては日常的な移動手段ではない側面を改めて認識しました。そこから、もっと多くの市民がバス交通の持続可能性を意識し、その支え方を考える機会が必要ではないかと考えました。そのための工夫や仕掛けとして、バス交通の仕組みや問題点を組みこんだゲームをつくり、遊びながら学ぶことができるワークショップなどで活用するを提案しました。

●子育て世代と地域をつなぐ子ども連れ歓迎マークの提案

「地域とのつながりを生み出すための地域行事」グループは、市民委員の、小さな子どもを連れて気軽に外食やイベントに参加することができない経験から着想しました。若い世代の参加を願っている地域行事の運営者がいる一方で、子育て世代は幼い子どもの参加が迷惑にならないか判断に迷う場合があります。そこで、子ども連れ歓迎の意思を伝えるマークを提供して、主催者と参加者とのコミュニケーションを助けることで、地域社会と子育て世代の交流を促す可能性を検討しました。地域行事での楽しい体験が記憶に残り、子どもたちが将来のコミュニティの担い手に成長していくことを期待しています。

上記の企画・提案の実現をめざして、現在、行政の観点から審議が進められ、同時に推進会議終了の活動継続についても方策を検討しています。



4. プログラムとスケジュールの概要



2021年6月27日：第1回全体会議（委嘱式、ワークショップ・テーマ「対話」（予定））

- 協働とまちづくりのための技法を学ぶ



2021年7月10日：第2回全体会議（ワークショップ・テーマ「市民協働」（予定））

2021年8月22日：第3回全体会議（ワークショップ・テーマ「議論」（予定））

2021年9月5日：第4回全体会議（ワークショップ・テーマ「システム思考」（予定））

2021年9月26日：第5回全体会議（ワークショップ・テーマ「企画立案」（予定））



2021年10月：テーマ設定とグループ編成



2021年11月～2022年2月：グループ活動（課題と仮説の設定）

【概要：ブレイン・ストーミング、視察、情報収集・整理】

- 会合の日程はグループ内で調整、頻度は概ね月2回程度



2022年3月：中間報告会



2022年4月～2022年9月：グループ活動（仮説の検証）

【概要：インタビュー、アンケート、事例調査、アイデアの試行】



2022年10月：中間報告会



2022年11月～2022年2月：グループ活動（企画の立案）

【概要：企画書・報告書の作成、発表（提案・提言）準備】



成果発表会：2023年3月

5. 協働と運営の体制



● 高島市市民協働のまちづくり推進本部

『市民協働のまちづくり推進指針』に掲げられた「高島市らしい市民協働」を推進する市民協働のまちづくり推進本部から、高島市役所各部局の次長級職員が参加します。

● 高島市市民生活部市民協働課

市民参画の推進や協働事業に関するここと等を所掌し、市民協働のまちづくりを進めています。まちづくり推進会議では、高島市市民協働のまちづくり推進本部とともに、行政の情報提供等、地域課題解決策の提案をより実現可能なものとするために取り組んでいきます。

● 事務局

坂下 靖子・木下 彰（たかしま市民協働交流センター）

地域の課題を解決したい、地域の魅力を高めたいなど、地域への想いを持つ人や組織に寄り添い、その想いの実現を応援しています。市民活動団体やボランティアグループ、地域コミュニティなどの支援とお互いのつながりづくり、さらに市民、団体、行政、事業者など多様な組織の協働を進めています。

● 研究者

木村 道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター・主任研究員）

持続可能な滋賀社会の実現に向けて、グローバルな気候変動影響から人口減少などに伴う地域コミュニティの衰退などのローカルな課題までを対象に、市民参加型のワークショップや地域調査などを通じて、市民と共に環境と調和のとれた地域社会の姿を考えるための方法について研究を進めています。主に地域社会の課題構造をシステム思考や各種データ解析などを基に、客観的に読み解くお手伝いができればと思います。

熊澤 輝一（大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所・准教授）

インターネット上にある環境や地域に関する様々な情報を、正確に探し当てるための研究をしています。木津川市や高島市などで地域づくりのお手伝いをしてきた経緯もあって、今後は、この研究を地域の記憶や風景を集めたアーカイブ作りに役立てたいと考えています。地図作りなど技術的なサポートが中心になると思うですが、皆さんと一緒に考える時間を持てることを楽しみにしています。

小野 聰（千葉商科大学商経学部・専任講師）

環境計画における市民参加手法について研究をしてまいりました。近年は特に、コミュニケーションの中にオープンデータなどを用いた社会シミュレーションの情報を取り入れたり、社会を模したゲームを取り入れたりすることによって、どのような効果が生まれるのかについて研究をしております。みなさんの実りある対話の手助けをしてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

王 智弘（京都精華大学・特別研究員）

鹿児島県屋久島をフィールドに森と海と人のかかわりの研究や、NPOの活動として雨の風土づくりに取り組んでいます。第2期の高島市まちづくり推進会議からファシリテーターを務めています。最近は持続可能な開発遊びながら学ぶアナログ・ゲームの製作にも取り組んでいます。市民と行政と研究者の協働による新しいまちづくりのかたちを一緒に探究しましょう。

6. 募集・選考について



● **募集期間**：5月7日（金）～6月4日（金）必着

● **募集人員**：15名

● **任期**：委嘱の日から2023年3月31日まで（約2年）

● **応募資格**：まちづくりに関心があり、まちづくりの活動への取り組みに意欲のある方で、次の1～3のすべてに該当する方

1. 2021年4月1日現在、高校生以上の方
2. 高島市に在住または高島市内の事業所や学校に通勤・通学する方
3. 市議会議員および市職員でない方

● **応募方法**：応募用紙に必要事項をご記入の上、下記の応募先に持参あるいはファックス、電子メールにてご応募ください（持参の場合は土日除く）。応募用紙は応募先またはホームページから入手できます。

● **選考**：書類選考により委員を決定し、選考結果は後日、応募者全員に通知します。



7. ご応募・お問い合わせ先

● **たかしま市民協働交流センター**

〒520-1622 高島市今津町中沼1-4-1（今津東コミュニティセンター内）

TEL：0740-20-5758 〈平日（祝日を除く）9：00～17：30〉／FAX：0740-20-5757

E-mail：webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

URL：<http://tkkc.takashima-shiga.jp>

● **高島市市民生活部市民協働課**

〒520-1592 高島市新旭町北畠565

TEL：0740-25-8526 〈平日（祝日を除く）8：30～17：15〉／FAX：0740-25-8156

E-mail：kyoudou@city.takashima.lg.jp